



植木への水やりのお願い



植付後、移植後の樹木の場合

暑い夏は人間ばかりでなく、植物たちも水を欲しがっています。樹木にとって夏越えは最大の難関。ときに移植（植付）して間もない樹木にとって水不足は致命的なダメージとなります。根の吸着が十分でない為、水分を吸収できる範囲が狭い上、吸い上げる力も未熟だからです。どうか庭木の水分補給の手助けをお願いします。

春・秋

気温 15℃以上は、
日射しが当たるところは乾燥気味になります。2日間以上雨が降らない日が続けば水やりをします。
植付後、乾燥させないようにしますが、お水を与え過ぎると根腐れを起こすこともありますので注意が必要です。
土の乾燥状態と、樹木の葉っぱの様子を見ていきましょう。

夏

植付間もない樹木は、なるべく樹木の様子を見るようにしましょう。朝水を与えて、夕方に土が乾いているようであれば夕方も水を与えます。水やりをしても水枯れを起こしてしまわない様に、葉っぱの様子をみましょう。葉が萎れてきたり、葉先が茶色くなったりしたら水が足りないシグナルです。

冬

雪が積もる季節は、水やりは不要です。雪が降らず土が乾燥している場合は、土を湿らせる程度に暖かい日中に水を与えます。夕方以降に与えると寒さと霜などで根を痛めてしまいます。

2年目以降で根付いた樹木の場合

春・秋

植付直後のように頻繁に与える必要はありませんが、植付後と同じように気温 15℃以上になれば、日射しが当たるところは乾燥気味になります。3~4日雨が降らない日が続けば、たっぷりとお水を与えます。特に春先は樹木も芽吹く準備を始めます。水を欲する時期でもありますので、乾燥に注意しましょう。10日以上雨が降らない時期は、時々葉っぱにも与えましょう。葉の乾燥を防ぎます。

夏

猛暑が続く時は、樹木もとても疲れます。1日1回涼しい時間につつりとお水を与えます。日射しが強くなる場所は、朝遅い時間にと蒸れを生じることがあります。朝方もしくは夕方の涼しい時間が良いでしょう。ホースの中の水は日中に温まっていますので、水温を確認して、ゆっくりと水やりをしましょう。

冬

雪が積もる季節は、水やりは不要です。樹木も休眠期ですので、春の芽吹きを手助けする土壌改良や肥料などを与えても良いでしょう。植付後と同じように積雪がなく、晴天が続いた時は土が乾燥気味になります。土が乾燥していたら、日中陽射しが出ている時にゆっくりと根元にお水を与えます。夕方以降気温が下がる時に水を与えると、寒さや霜などで根を痛めてしまいます。

